

箕面市 災害危険区域 避難所 マップ

MINOH CITY HAZARD ZONE MAP

いざというときに役に立つ! ぐらしの情報ダイヤル

災害時専用の緊急連絡先

箕面市災害対策本部 ☎724・5000

聴覚(言語)障害者用FAX ☎727・3539

緊急ダイヤル

事件・事故の急報は **警察 110番**

火災、救急・救助は **消防 119番**

急病・救急

「救急車を呼んだ方がいい?」「どこを病院へ行った方がいい?」など突然の病氣や、けがで迷ったときは…

救急安全センターおおさか
携帯・プッシュ回線 ☎#7119

つながらない場合は☎06・6582・7119

ライフライン

停電のときは	関西電力送配電コンタクトセンター	☎0800-777-3081
ガス漏れのときは	大阪ガス ガス漏れ通報専用(24時間)	☎0120-5-19424
水漏れやつまりのときは	箕面市上下水道局	☎722-3055
電話の故障時は	NTT西日本 局番無しの113番	携帯電話からは0120-444113(24時間) (午後5時～翌午前9時は録音による受付となります)

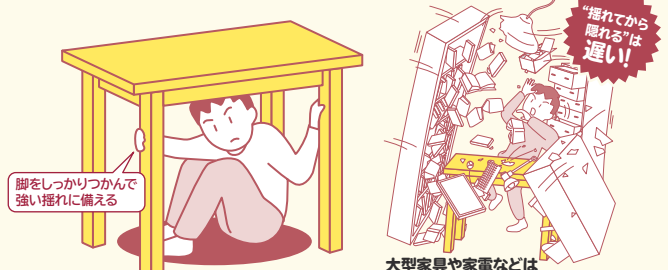
ぐらしに関する相談窓口

子育てや育児・介護・福祉など、生活での悩みに関するご相談から、市政へのご意見・ご要望まで、お気軽に箕面市役所までお電話ください。オペレータが、みなさまから頂戴したお電話を迅速に担当窓口へおつなぎします。

箕面市役所	☎723-2121
豊川支所	☎729-4058
止々呂美支所	☎739-0355

緊急地震速報が鳴ったら すぐに机の下に隠れる

緊急地震速報とは、地震発生直後に、「もうすぐ大きな揺れが来る」と知らせる警報です。この速報から強い揺れが来るまでの時間は、数秒〜数十秒しかありません。速報が鳴ったらすぐに隠れる場所を探し、机やテーブルがあれば下に隠ってください。



揺れが収まったら ①まず、二次災害を予防!

- ①ガラスの破片によるけがを防ぐため、室内でスリッパや靴をはき、窓を閉めて出口を確認する。ガラスの破片を落とす。余震で落ちそうなものは下に下ろす。
- ②「黄色いハンカチ」を玄関先に出す
自分と家族が無事であれば、大丈夫の印の「黄色いハンカチ」を掲げてください。災害時、ご近所さんに「うちは大丈夫!」と知らせる印です。
- ③「みんな無事?」向こう3軒両隣
「みんな大丈夫?」向こう3軒両隣のご近所さんに呼びかけて無事を確かめてください。

もしも火が出ている、家屋が倒壊していたら…
119番すると同時に、消火・救助に当たってください。災害の範囲が広いと、消防などへの電話がつかない可能性があります。また、全ての消火・救助に出動することができない可能性があります。

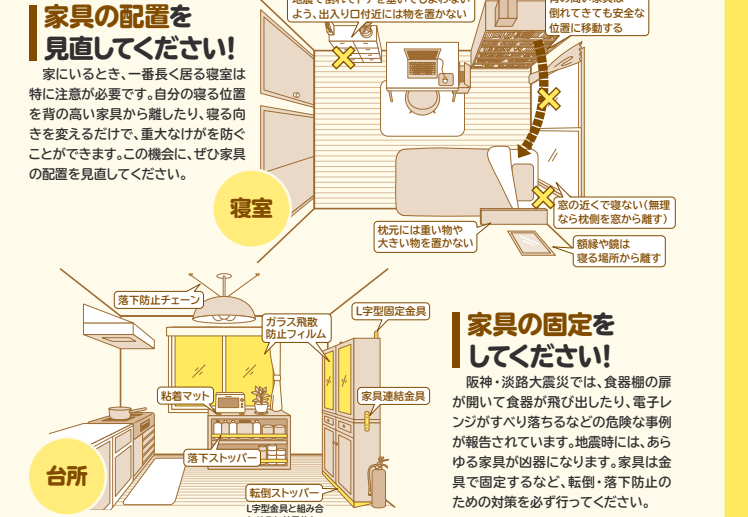
地域での安否確認、消火・救助活動が落ち着いたら

家が無事なら ⇒ 家にいる 倒壊や火災の危険がないなら自宅を拠点に電気・ガス・水道の復旧と支援を待ってください。

家が危険なら ⇒ 避難所へ 倒壊や火災の危険があるなら非常用持ち出し袋を持って、お住まいの校区の小学校へ避難してください。
※北小学校区はメイプルホール、豊野小学校区は第二中学校。

家具の転倒から命を守る 家具の固定・配置換え

震度6弱の揺れが起こると、人は立っているのが困難になり、棚の食器や電化製品が落下し、背の高い家具などは倒れますので、家具の配置の見直しや家具の固定をしてください。



大切なのは、地震に耐えられる家!
市の協定締結業者に依頼すれば、耐震診断が無料で受けられます。「我が家は大丈夫?」まずは耐震診断から。お電話してください。

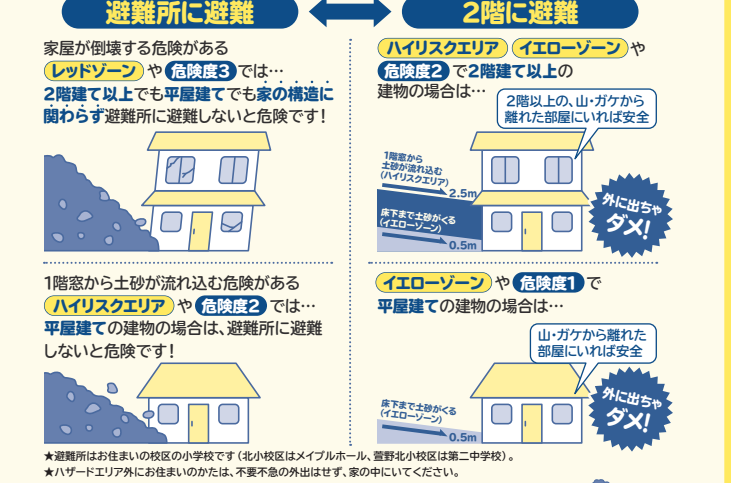
事業者名	所在地	電話番号	事業者名	所在地	電話番号
株式会社アーキンド	船場西3-4	☎700-8840	株式会社建福	栗生問荷7-34-17	☎743-2266
アイシー企業株式会社	東雲南5-2-37-504	☎739-8031	株式会社NOW WEST	箕面5-11-2	☎720-2203
イノテック株式会社	今泉4-6-27	☎728-2224	北谷建設設計	箕面6-5-71-402	☎722-1277
岡田一建設設計事務所	板井2-6-6	☎722-0043	株式会社ひよりホーム	如草台1-1-37	☎737-5780
北谷建設株式会社	新郷2-1-43	☎723-3431	株式会社フルク建設	板井1-18-3	☎786-5910
木村建築事務所	香島5-5-555と505	☎737-9540	ホームデコール株式会社	箕面5-12-68 2F	☎721-4000
クラフト建築企画設計	新郷5-14-30-101	☎737-8804	株式会社ホト住建	箕面4-6-9	☎720-6800
株式会社ジェイワークス	彩都東生南1-16-29	☎728-5597	株式会社東洋センター	箕面2-13-1	☎723-3241
株式会社さつまホーム	西木1-11-101ビル5F	☎726-7780	株式会社精工店	箕面外院3-7-6	☎728-2611
地下鉄商店街株式会社	如草台2-10-85	☎722-1426	メイプルハウス株式会社	栗生問荷6-7-13-102	☎727-7775
旭のリアル不動産株式会社	箕面4-8-66	☎720-2527			

避難所に行く?家にいる? 防災マップで確認

台風や豪雨のとき、最も危険な場所は、「ハザードエリア」の屋外です。ハザードエリアにお住まいの場合、家が安全なら、外に出るほうがむしろ危険です。防災マップでハザードエリアを確認し、いざというときの行動として、「避難所に行く」「家が安全か」「家にいる」ほうが安全を確認してください!
※ハザードエリアは、土砂災害または浸水害が発生する恐れのある区域です。

家の構造と、土砂災害・浸水害のリスクの程度によってあなたの避難行動が変わります!

土砂災害は…**レッドゾーン** **ハイリスクエリア** **イエローゾーン** に分類されます。
浸水害は… **危険度3** **危険度2** **危険度1** に分類されます。



大雨に備えて点検・清掃!
家の周りの側溝を掃除してください!
側溝にごみや落ち葉、木の枝などが詰まっていると、水が流れず冠水の原因になります。1カ所の詰まりが周辺の冠水を引き起こし、自分の家の周りだけでなく、地域全体に大きな被害をもたらします。雨が降り出してからでは手遅れになります。家の周りの側溝をチェックして、ごみや落ち葉、木の枝などが詰まっていたら必ず掃除をしてください!

今すぐ始めよう! 家庭の備え

大地震が起こった直後は、外部からの支援が3日間届きません。電気・ガス・水道が止まり、物流が途絶えても、3日間持ちこたえられるよう、毎日の習慣として、今すぐ家庭の備えを始めてください。

冷蔵庫やパントリーは「いつも」いっぱい!
普段から、多めに買い置き、古いものを消費して、使ったらまたすぐに買い足しておく。常に「新しい在庫」を家に置いておきましょう。

食糧 普段食べているものでOK! 調理しなくても食べられるものをそろえてください。

水 9リットル×家族の人数 ひとり1日3リットルの飲料水が必要です。

4人家族なら9リットル×4人

お風呂の水は「いつも」張っておく!
災害が起きたとき、お風呂の水はトイレの流し水など生活用水として使えます。いつも水を張っておきましょう。

車のガソリンは「いつも」満タンに!
「出かける前に給油」ではなく、「降り口に給油」を習慣におきましょう。車は、移動手段としてだけでなく、エアコンで暖をとることが出来ます。また、カーパワリーを利用して、スマホや携帯電話の充電ができます!

災害時を想定して 非常用持ち出し袋の準備を!
停電・断水時や緊急時に、すぐに使用したり、持ち出すことができるよう、備蓄品の一部や無いと困るものをリュックなどにまとめて、玄関周りに置いておきましょう。

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- ウェットティッシュ
- 乾電池
- 簡易トイレ
- 缶・ボトル(割けを防ぐため)
- 無いと困るもの…水を少しと軽い食糧、赤ちゃんの粉ミルク、おむつ、
- いつも飲んでいる薬、コンタクトレンズ(または予備のメガネ)、生理用品、マスクなど

大規模災害の備え、防犯対策に! 自治会に入る

大規模地震の時に、1人でも多くの命を救うために、隣近所の素早い安否確認が何より重要です。市では、安否確認を自治会単位で行っています。また、防犯カメラや防犯灯は、自治会が設置しています。大切な家族や自分を災害や犯罪から守るため、是非自治会に加入してください!

市では、災害に備えて 災害時の安否確認を、自治会単位で行っています!

災害時に素早く安否確認ができるよう、自治会であらかじめ「安否確認分担表」を作成し、安否確認をするグループや報告に行く人、報告を受けの人、集場所などを決めていきます。安否確認分担表▶

市では、犯罪を防ぐため 防犯カメラや防犯灯は、自治会が設置しています!

市では、防犯カメラ設置費用のうち、最大18万円の補助(防犯カメラの密度により補助率は異なります)を実施しています。また、LED防犯灯の新設・増設・取替費用には、75%補助を実施しています。防犯カメラと防犯灯の設置で、空き巣や自転車・オートバイ盗、痴漢などの犯罪を防止しましょう。

自治会の入り方 市役所自治会係 ☎724-6179

- 1 市役所の「自治会係」にお電話ください
- 2 最寄りの自治会の会長さんへ自治会係から連絡します
- 3 自治会長さんから連絡してもらいます

活用してください! 災害時の活動拠点 地域防災ステーション

「地域防災ステーション」は、①自治会が発災直後の一時的な集場所として使い、②ステーションに設置された資器材を持って消火・救助へ向かう「災害時の活動拠点」です。また、③救援物資の配布拠点にもなります。市内61カ所に整備していますので、ぜひ活用してください。

地域防災ステーション3つの活用方法

- ①集合する! 発災直後に集合し、自治会の一時的な避難場所として活用します。また、隣近所の安否確認の結果をとりまとめる場所としても活用します。とりまとめた結果は、代表者が避難所に報告に行きます。
- ②助けに行く! 消火・救助活動の拠点です。ステーションに備わる消火・救助資器材を活用することで、消火や救助に向かう時間を大幅に短縮でき、1人でも多くの命を救うことができます。
- ③配る! 救援物資の配布拠点です。市では、災害時の救援物資の配布は、自治会を通じて行います。地域防災ステーションは、その配布拠点にもなります。

災害時の緊急情報 タッキー816を聞く

市では、市民に被害が及ぶような重大な災害が発生したときは、災害対策本部を設置し、災害時の緊急情報をタッキー816(FM81.6メガヘルツ)で繰り返し放送します。

災害時、避難などに関する市からのお知らせ…

タッキー816(FM81.6メガヘルツ)、市民安全LINE、市民安全メール、市民安全ツイッター、市ホームページの緊急情報、防災スピーカー(公園などの大型スピーカー)から配信します。

今すぐ登録してください! ▶▶▶

- 市民安全LINE @minohcity
- 市民安全メール
- 市民安全ツイッター @Minoh_Anzen

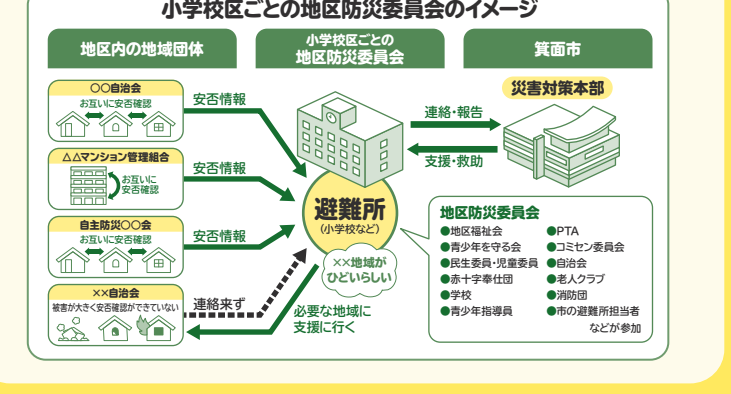
箕面市の地域防災の中核 小学校区ごとの 地区防災委員会

市では、大規模災害が起きた後、たとえ行政機能が停止していても、地域で地域を守る体制を作るため、小学校区ごとに「地区防災委員会」を設立しています。

平時の活動 平時には、地区での防災訓練や、地区内の団体とのとりまとめを行います。

発災直後の活動 震度5弱以上の地震が起きたら、役員は避難所に自動参集します(震度4以上の地震のときは、市職員と学校職員が避難所を開けます)。

- ① 避難所の自主運営
- ② 地域の安否情報のとりまとめ
- ③ 市と連携した地域の支援



毎年1月17日は 全市一斉総合防災訓練

市では、阪神・淡路大震災が起きた1月17日に毎年、「全市一斉総合防災訓練」を実施しています。災害は、何曜日にかかるかわかりません。家族がバラバラに過ごしている平日や、家族みんなが家にいる休みの日など、いろいろな曜日に訓練をしておくことが、いざというときの行動に繋がります。

地区防災委員会は 「避難所開設訓練」、自治会などからの「安否確認の集約」などを行う

自治会のみなさんは 「黄色いハンカチ作戦」による「安否確認訓練」を行う

各家庭では 「家庭の備え」ができていのかを確認するなど

編集と発行 箕面市 市民安全政策室 〒562-0003 大阪府箕面市西小路4-6-1 ☎724-6750 ☎724-6376 令和3(2021)年6月